

飛ぶ？ 飛ばない？



前号の細川裕子
夫妻との麻雀企
画を見て、連絡
してきたのは鈴
谷一平。「負け

すぎでしょ(笑)。そんな負けま
す？」とブツタ切られた。作間
章や菊地孝平、白井英治など、
麻雀好きの選手は多いが、鈴谷
も実は麻雀大好き人間。そして
「次は僕とやりましょうよ」と挑
戦状が送られてきた。その腕前
のほどはと言うと…、「全然強
くないです。すぐに飛びます」
とまさかの下手の横好き系？
でも7月の児島GⅡのイン戦は
きっちり逃げて、飛ばない、鈴谷
だった。

年の差なんて…



97期の同期コン
ビの西山貴浩と
土屋智則。西山
は土屋のことを
「トモノリ、ト
モノリ」と呼び
捨てて連呼する

が、実はこの2人、3学年差で
土屋の方が年上。「同じ釜の飯
を食った同期なんですから、年
の差なんて関係ないですよ」と
仲の良さをアピール。ただ、そ
んな西山が唯一、土屋のことを
さん付け、する時が…。「SG

を優勝した後だけ『土屋さん』で
す。だって、お金をいっぱい払
ってくれる大蔵省ですから」と、
懐事情で呼び方が変わる西山だ
った。

ファンに最敬礼！



大村で開催され
たオーシャンカ
ップには、テレ
ポート会員の招
待ツアーの解

説として現地参戦。ピット見学
のアテンドもした。ピット内
はワースト級のエンジンに手を
焼き、バタバタする森高一真の
姿を発見。ピット内は猛暑によ
る高温で「何やこの集団は？」
と、暑さのせいとか、ややイラッ
とした表情を浮かべた。ただ、
レポート会員のツアーだと知
ると「いつもご購入あざす！」と
ファンに向かって最敬礼。ファン
あつてのポートレース。さす
がです。

F3の過ごし方



「F3の休みの
間はずっと遊ん
でいました」と
話すのは中田夕
貴。「家でジッ

としていたら気が滅入っちゃう
し、こうなったらとことん遊ば
う、行きたいところに行こうと
決めました」と旅行三昧だった

朝ラー生活



前田紗希が最近
ドハマりしてい
るのが、麵活。
それも「朝ラー
にハマっちゃう

まして、休みの日は朝の9時か
らラーメンを食べに行ったりし
てます」というから驚きだ。減
量に気遣いそうだが、昨年住之
江で負傷し入院した時に体重が
落ちたため、ハイカロリーなラ
ーメンでも体重を気にすること
なく食べられるようになったと
いう。「夜勤明けの方たちに交
じて朝から…(笑)。朝に食べ
るとその後、ちゃんとカロリー
を消費できるんじゃないかと思
って」。前田の朝ラー生活は、
まだまだ続きそう。

飽くなき探求心



茅原悠紀は実験
が大好き。オー
シャンカップ
の優勝戦でも
「今までチルト

をマイナスから3度まで全てや

無限大の伸びしろ



後藤陽介に師事
する大澤誠也。
期ごとに成績を
めきめき上昇さ
せ、特に旋回

ったことがあるのに、不思議と
1度だけやったことがなかった
ので、実験だと思ってるってみ
た」という。確かにこれまでは
大きなレースの優勝戦では、時
には前付けをしたり、逆にチル
トを3度上げて大外へ行った
りと、その時の状況に合わせた
調整を試みてきた。今回は茅原
が初めて試したチルト1度がレ
ースを作り、10年ぶり2度目の
SGタイトルにつながった。「下
半期もどこまでやれるか、実験
ですね」。茅原の「実験」は今後
もまだまだ続く。

自信を深めた理由



3Dプリンター
を使って革新的
なゲージを作っ
ている後藤陽
介。本人が好む

な形をしていることもあって、
調整の傾向が伸び寄り、独特
な形をして選手から不評の声も
少なくないそう。そんな中、
「これはスゴイ。本当に出てる
から節間ノーハンマーで行きま
した」と絶大な感謝をしていた
のが武井莉里佳。3月の若松で
超抜気配となり、上がりタイム
1分48秒9をマークし、スピー
ドクイーンメモリアルの若松1
位にノミネート。これを聞いて
自信を深めた後藤は、さらにペ
ラを突き詰めて現在の快進撃に
至る。

Macour Coverage Memo

追配取材メモ